

平成29年度に県内森林組合が補助金を活用して実施した森林整備事業についてお知らせします。

このページは、平成29年4月に実施した「県内森林組合系統の信頼回復に向けた行動宣言」に基づきお知らせするものです。

県下の全18組合が平成29年度に森林経営計画に基づき補助事業を活用し実施した森林整備事業の概要です。森林を守ることは、地道な作業を長い年月を費やして行なわなければ成し得ません。森林組合に従事する役職員は社会的使命と公益的な性格を持つ組織として、より一層の団結の下、林業作業における高い生産性、安全性の確保を目指し、路網、高性能林業機械を活用してコストの低減化を図りながら、作業面積の拡大に努めています。

長野県のすばらしい森林を未来に継承していくため引き続き森林整備を推進してまいります。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

参考：各森林組合のホームページにおいても公表しています。

県内森林組合が補助金を活用した森林整備事業の概要(平成29年度)

森林組合名	作業面積(ha)		搬出材積(m ³)	作業道(m)	事業費(千円)	補助金(千円)
	搬出間伐	以外				
南佐久北部	8	24	699	0	12,441	8,383
南佐久中部	12	35	1,019	2,159	32,038	26,850
南佐久南部	24	3	1,237	540	17,434	10,939
佐久	41	63	2,885	1,194	59,961	40,247
信州上小	230	122	17,655	0	236,704	129,610
諏訪	86	149	7,463	8,828	129,521	79,683
上伊那	310	261	20,468	20,971	364,033	287,729
飯伊	346	993	19,324	22,948	525,895	427,265
根羽村	39	83	2,222	753	63,278	44,857
和合	0	35	0	0	8,913	9,532
木曾	337	197	9,597	8,833	208,122	186,103
木曾南部	5	75	224	500	26,337	23,261
南木曾町	4	26	503	0	13,798	11,418
松本広域	49	211	3,932	13,557	322,082	241,795
大北	1	10	93	0	2,845	1,069
長野	235	446	26,497	29,665	399,938	299,168
北信州	150	23	15,271	6,054	201,583	87,897
栄村	26	15	2,550	1,600	27,708	19,622

★ 森林づくりの進め方

小規模な森林をまとめて「森林経営計画」を立てます。

森林経営計画とは、「森林所有者」又は「森林の経営の委託を受けた者」が、自ら森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成する5年を1期とする計画です。

一体的なまとまりを持った森林において、計画に基づく効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的としています。



森林組合の職員が、間伐の方法、路網の整備、木材の販売方法など具体的なご提案を持って、森林所有者の皆様に説明に伺います。

事業実施まで

- ① 森林組合からの説明と提案
- ② 長期施業委託契約の締結
- ③ 森林経営計画の作成
- ④ 事業の実施



搬出間伐とは

樹木の成長に伴って混み合ってきた林の立木を一部抜き伐りすることにより植栽木の不必要な競争をなくし、すくすく力強く育つようにする作業です。また、林床に太陽光が届くようになり、下草が生育しやすい環境ができ、土壌の流出防止にも繋がることから、土砂災害防止のためにも重要視される保育作業です。

搬出間伐は保育の間伐と同じく植栽木の適正な密度管理のために行う作業ですが、林齢が比較的高い森林について、間伐で伐採したカラマツやスギ、ヒノキを木製品等に有効利用するものです。伐採した間伐材は、利用に適した長さに玉切りし、木材センター等に運び、そこで製材業者等に販売します。

森林をまとめることで路網を整備し、作業の効率を高め、低コスト化を進めます。

危険な伐採作業をより安全に、効率よく進めるためには作業の機械化が必要です。また、木材を木材センター等へ送り出すためには、路網の整備が必要です。森林をまとめ(団地化して)ることで、森林の資源を無駄なく活用することができます。



高性能林業機械による作業(伐採・集材・造材等)



トラックへ積み込み



木材センターで仕分けて販